

○氏名 : 立野 隆彦
 ○会員番号 : PE-0253
 ○専門分野 : Mechanical Engineering
 Chemical Engineering
 ○保有資格 : 上席化学工学技士
 一級管工事施工管理技士



FE 試験受験 : 2012/10
 PE 試験受験 : 2013/04
 PE 登録 : 2018/10

Mechanical Thermal and Fluids Systems in Delaware

私の現在の所属は、兵庫県尼崎市の製缶会社にて、生産設備のエンジニアリングを行っております。その中でも主に機械設備設計や生産設備建設の取りまとめを担当しています。今回は良いご縁を頂き JSPE へ入会させて頂くとともに、皆さまのご協力の元、PE 登録も完了致しました。登録はスムーズに行ったとは言えないのですが、私の体験が皆さまのお役に立てればと思います。

1. PE 登録までの経緯

2013 年 4 月に PE 試験を受験し、合格通知が届いたのは 2013 年 6 月でした。その後は、試験に合格したもののどうしていいかわからずしていました。インターネットで調べると、JSPE にて受験・登録相談会が神戸で開催されることを知り、早速申し込みました。登録相談会を通じて、私の会社には PE がいないため、まず JSPE に入会しないと PE 登録は難しいと思い、JSPE に入会しました。その後の流れを、概略スケジュールに記載いたします。

PE 試験から PE 登録までの概略スケジュール

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2013				▼	PE 試験を受験								
						▼	PE 試験の合格通知						
2014	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			▼	JSPE 主催登録相談会参加									
					▼	シラバス入手							
						▼	JSPE 入会						
2015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2017				シラバスの英訳依頼								
				大学によるシラバスの英訳の確認とNCEESへの送付								
2018		NCEESでの学歴評価										
			登録州の選定									
				DAPEにPE申請開始								
				経験記述作製								
				州法試験								
				Affidavit取得								
					Reference依頼							
				Reference追加依頼								
							Seal購入					
							PE登録完了					

2. NCEESの学歴評価

2014年の登録相談会にて、NCEESの学歴評価には、シラバスの英訳が必要だということを知り、すぐに卒業大学へ行き英文シラバスの有無を確認しました。教務部の方からは、英文は無いが和文は保管しているので個人でコピーするのであれば貸出可能と説明されたので、早速、和文シラバスを借り、和文のシラバスをコピーしました。その後は長期出張のため、なかなか進展がないまま2年ほどが過ぎ、2017年のJSPE関西イヤーエンドパーティの中で翌年の目標を発表する機会があり、川村前会長からPEになることを目標とするように促され一大決心をしました。

よく登録体験記ではこの翻訳に数カ月かかりました等ありますが、私は当時、出張も多く、気力も充実しなかったため、シラバスの英訳は友人の翻訳家に頼みました。半年ほどで翻訳が終了し、内容は自分自身で確認した後、大学へ持参しNCEESへ送付してもらうように頼みました。私の出身学校では、担当している教務部の担当者に経験があったのか、内容を確認してから送りますと快く回答があり、提出用の英文のみ記載した資料と翻訳確認用の和文・英文併記の資料を提出し一旦帰宅しました。2週間ほど後に、教務部の担当者からメールがあり、内容を確認したところ訂正箇所があるので、訂正し再提出してくださいと記載がありました。訂正箇所を訂正し、再提出したところ、確認作業が終了し、私が送付した内容で成績証明書、卒業証明書と一緒にNCEESへ送付しましたとの連絡がありました。

クリスマス休暇前の12月初旬の送付であったため、約2ヶ月後の2月初旬にNCEESのホームページの“My Account”より状況を確認すると“Meets NCEES Standard”と記載があり、学歴評価が終了したことがわかりました。“Action”のところにカーソルを持っていくと“Send to Board”とあるので、登録州を決めたのちに送付すればよいことがわかりました。

Recent Items

PE Mechanical Thermal and Fluids Systems Result Notice
 Format: Paper
 Result: Pass [Next steps](#)
 Location: Tokyo Area
 Date Taken: April, 2013

FE Other Disciplines Result Notice
 Format: Paper
 Result: Pass [Next steps](#)
 Location: Tokyo Rika Daigaku (Tokyo Univ. of Science)
 Date Taken: October, 2012

Credentials Evaluation
 Meets NCEES Standard

Actions ▾
 Send to board
 View evaluation

Send to board
 より各州へ
 送付可能

NCEES での学歴評価の状況確認

COMPARABILITY SUMMARY

Outcome: Equivalent

Area	Hours	Deficiency
Math/Science	44 / 32	None
Engineering	51 / 48	None
General Education	18 / 16	None
Elective/Other	26 / N/A	None

View Evaluation を見たときの表示

3. PE 登録州の選択

登録州の選択は、本来最初に選択すべき内容かもしれませんが、登録相談会等ではそれぞれ一長一短があり、以前は日本人登録者の多い州も直近は異なったりする場合がありますと聞き、JPEC の URL(<https://www.jpec2002.org/registration/conditions.html>)や NCEES の URL にて、各州の条件を確認しました。私の条件は、

1. 日本に在住なので、SSN が不要であること。
2. 会社に PE がいないので、Super Visor が PE である必要がないこと。
3. 同様に Reference もできれば PE である必要が無いこと。

としました。これらの条件を考慮し、Colorado 州と Delaware 州へ、自分が SSN を持っていないがどうしたらよいか、Reference は PE である必要があるかの 2 点をメールでそれぞれの州の Board に質問しました。Colorado 州からの回答は、数日後だったのに対し、Delaware 州は翌日には回答がありました。さらに疑問点があったので質問しても、翌日には回答があったため、レスポンスの良さから Delaware 州にて登録することに致しました。

4. Delaware 州への登録開始

Delaware 州の URL : Delaware Association of Professional Engineers (DAPE) から PE の登録申請を行うのですが、最初に自分自身の Account を作成する必要があります。ここでのパスワードが SSN の末尾 4 桁とあります。申請前にメールで確認した時は、SSN は必要ないと回答があったので疑問に思い、確認のメールを送信すると、申請番号（後で登録番号に変わります。）とパスワードが送られてきました。住所等の個人情報を入力しますが、ZIP-CODE の入力では、日本の ZIP-CODE が入力できないという問題に直面しました。後で過去の登録体験記を読んで“00000”を入力しておけばよいことを分かったのですが、入力中はわからずに違う数字を入力してしまいました。それでも、入力が終われば次のステップに進むことはできます。登録体験記を書いていると思いたして反省しますが、最初にもっと他の方の登録体験記をよく読んでおけば、疑問は少なかったと思います。

また、この時に NCEES から学歴評価の結果を送付してもらえるように申請しました。

5. 経歴記述の作成

経歴記述については、日本語で私自身の業務経験を簡単に作成し、翻訳したものを作成しました。この時に、Prior、Subsequent、Teaching と分割するように記載がありました。私は、入社してから似たような業務ばかりなので時系列的に今までの経歴でどのようなことをしていたかを記述しているうちに 5500 字を超えてしまったので、わかりやすい案件の内容多く記載するように修正しました。また、Super Visor には本内容が送付されるようです。

6. 州法についての受験

Code of Ethics と州法に関する試験がインターネット上でありました。URL 上に Reference Documents とあるので、その内容を確認しながら、解答するとよいです。

The screenshot shows the website for the Delaware Association of Professional Engineers (DAPE). The header includes the DAPE logo and contact information: 92 Read's Way, Suite 208, New Castle, DE 19720, Phone: 302-323-4588, Email: office@dape.org. The main navigation menu is divided into three sections: Professional Engineer, Certificate Authorization, and Temporary Permits. The Professional Engineer section is highlighted with a green border and contains a list of links: How to apply, New Applicant, Exam Payment, License Renewal, Address Update, PE Roster, Download Renewal/Wallet Card, Check Application Status, and License Verification. The Certificate Authorization section is highlighted with a red border and contains links for How to apply, Address Change, Renewal, and CA Roster. The Temporary Permits section is highlighted with a green border and contains a link for How to apply. The main content area is divided into two sections: General information about DAPE and engineering in Delaware, and Reference Documents. The General information section is highlighted with a green border and lists: Members of the Council of DAPE, Council and Committees, Meetings held by Council and its Committees, Differences between DAPE and NSPE-DE, Why should you get licensed as a Professional Engineer, and How to file a complaint. The Reference Documents section is highlighted with a red border and lists: Delaware's Engineering Code of Ethics, Delaware's Professional Engineers' Act, DAPE Bylaws, Administrative Penalty Guidelines, Continuing Professional Competency (CPC) Guidelines, PDH Log Form, and PE Reinstatement Form. Two text boxes are overlaid on the screenshot: one in the General information section with the text '申請時や状況確認時に使用' and one in the Reference Documents section with the text 'Code of Ethics と州法に答えるときに使用'.

7. Affidavit の準備

Code of Ethics 及び州法の試験に合格すると Affidavit (宣誓供述書) のダウンロードが可能となり、印刷しました。ここでも、過去の登録体験記を読んでいなかった私は、Affidavit が何かわからなかったため、顔写真を貼って、署名をしたのみで PDF にして DAPE へ送付しました。すると、数日後に Seal と Signature of Notary Public の記載がないので再度提出するようこの連絡がありました。

そこで、初めて過去の登録体験記を読み直して、自分と同じ Mechanical で同じ州で登録しているような方の登録体験記から、米国の大阪領事館へ行くと Seal と Signature of Notary Public を受領することができるを見つけ、インターネットにて約 2 週間後の午前中の訪問を予約しました。

<https://evisaforms.state.gov/acs/default.asp?postcode=KBO&appcode=1>

当日は、印刷した Affidavit に写真を張り付け、事前記入したものを持参しました。ガムなどは持ち込み禁止で外の箱の中に入れてましたが、そのほかは問題なく 1 時間程度で Affidavit (宣誓供述書) の作成が完成しました。この時に初めて宣誓供述書の意味が分かりました。正式な Affidavit をスキャンし、アップロードしようとしたが、アップロードできなかったため、仕方がなくメールにて DAPE の秘書の方へ送信しました。スキャンした時に Seal はエンボスのため、ほとんど判別できないのですが、原本の送付は要求されませんでした。

8. Reference の登録

Delaware 州の PE 申請については、Supervisor の 1 名に加え、Reference を 5 名から受ける必要があります。Reference の内 3 名は PE と聞いていたのですが、最初のメールで Reference は PE である必要はないと回答をもらっていたので、Super Visor は上司、その他の Reference は会社の同僚や後輩にお願いしました。Super Visor と Reference には、「名前」、「メールアドレス」、「関係性」、「いつからの関係か」を記載するところがあり、記載するとメールが、当事者に送られることとなります。事前に Reference が送付される旨説明しておかないと、海外からの迷惑メールなどと一緒になって処理されないケースがあります。私の会社の場合は、海外からの自動送信メールは全て迷惑メールフォルダに入るので、Reference をお願いした方々に、DAPE からのメールが送られてきていないかを、直接確認しました。私の場合は、Super Visor も Reference も PE でなかったため、全ての Reference がそろった後に、DAPE から、更に 3 名の PE の Reference を提出するように要求がありました。そこで、要求のあった直後の鬼金セミナーにご参加される PE の方々に Reference をお願いしました。3 名の要求でしたが、良く分からなかったため、5 名の方に Reference 依頼を DAPE の URL にて追加したところ、3 名にしか Reference は送付されませんでした。

結論としては、

Super Visor : 1 名 (PE である必要はない。)

Reference : 5 名 (3 名以上は PE、2 名は PE である必要はない。)

が必要という事です。

9. DAPE での審査

追加でお願いしました PE の方々から Reference を送信頂いた後に、DAPE から 10 月 10 日に PE としての登録が承認されましたとメールにて連絡がありました。その中に Approval Letter と共に、Seal の登録と登録費用を支払うように記載がありました。この時も、自動配信のメールで送られるため、DAPE の秘書の方からは、メールにて受領確認のメールが送信されてきました。受信していない旨を伝えると別途 PDF ファイルを送信

してくれました。その翌日に、迷惑メールを確認していると no-reply@DAPE.org からメールが送られてきていました。その指示に従って、インターネットで登録費用を支払うとともに、Seal の購入を行いました。私は、全てクレジットカードで処理できる PE stamps (<https://www.pestamps.com/>) にて購入しました。

この Seal 登録用紙の Seal の押印位置が A4 用紙の上の方であり、Seal の押印の方向がわかりませんでした。私は、切込を入れてまっすぐになるように押印して、テープを張りました。この方法が正しいとは思いませんが、押印方向では特に指摘は無かったです。DAPE に Seal 登録書類を Fedex にて送付し、PE 登録が完了しました。(この Seal 登録のみ郵送で送付する必要があります。)



PE stamps での Seal サンプルの例

Application Information

Your application has been submitted for review.
Please check back here for updates on the status of your application

Application ID:	22204
Registrant:	Takihiko . Tateno
Application Status:	Pending
Original Registration State:	

申請状況

Application Status as of Tue September 04 2018: submitted

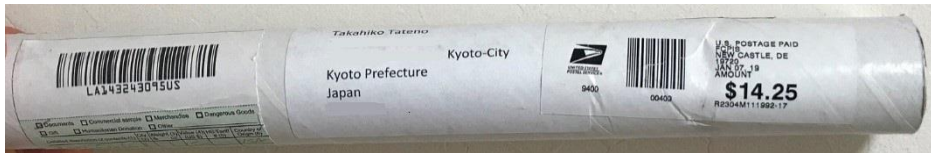
Affidavit:	Received
Board Approval:	Pending Approval

承認状況

DAPE の URL による「申請状況」や「承認状況」の確認

10. PE Certificate の送付

Seal 登録書類が DAPE に到着した後に、DAPE の秘書から日本は遠いので Certificate は PDF で送信するというメールを受け取りました。折角なので、正式な Certificate を入手したいと思い、どのようにすればよいかを確認したところ、輸送費用を負担すれば、送付してもらえとの回答がありました。その費用も FEDEX であれば \$97.34 USD、United States Postal Service であれば \$14.25 USD という内容でした。クレジットカードは受け付けないということでした。そこで、郵便局から相手先住所へ送るため、為替証書にて送金する方法を取りました。しかし、この弱点は送金手数料が 1 件 5000 円と高いことです。送金手数料が高かったため、輸送手段は、United States Postal Service を採用し、5000 円の手数料で \$14.25 USD を送金しました。ここが最後の失敗で、通常 Fedex であれば、1 週間以内に到着するところが、United States Postal Service では、1 週間以上到着せず、更に梱包も以下の簡易梱包で少しつぶれていました。



PE Certificate が送られてきた筒

最後にお金の出し惜しみをせずに、Fedex で送っておけばと思いましたが、後の祭りでした。その後、折角オリジナルの証明書を手したので額に入れようと思い、Amazonで 11" x 14"の額の購入し、壁にかけるようにしました。今は私の部屋のアクセントになっています。



額に入れた PE Certificate

11. その他

登録に際しては、JSPE 会員の皆様の助言や情報、JSPE マガジンの登録体験記が大変参考になりました。鬼金セミナー通じて皆様のお言葉を励みに何とか登録に至りました。PE 登録については、金銭的なものそうですが、モチベーションの維持が難しく、私一人では登録まで至っていないと思います。

レファレンスをお願いした方々も含め JSPE の皆様には、大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

よく PE ライセンスは、エンジニアの運転免許証と言われていますが、PE 登録を機会にエンジニアとしての初心を忘れずに、自分自身のレベルを上げるように努力していきたいと思います。

以上